

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 岡山スイキョウ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0944 岡山市南区泉田371-1
----	----------------------------	----	--

本票作成	部署名： 経理部
------	----------

主たる業種	分類コード	44	業種名： 道路貨物運送業
-------	-------	----	--------------

事業の概要	岡山県内の4営業所に200台程度の車両を置き、運送業を行っている。 従業員数は、約320名。
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	倉富物流センター	岡山市中区倉富367-4
	②	瀬戸内物流センター	瀬戸内市長船町土師168-1
	③	泉田営業所	岡山市南区泉田371-1
	④		
	⑤	早島物流センター	都窪郡早島町矢尾812-6

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 240 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)	(平成 27 )年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	10,413 t CO <sub>2</sub>	11,534 t CO <sub>2</sub>	10,800 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27 )年度排出量
	①	倉富物流センター	5,392 t CO <sub>2</sub>
	②	瀬戸内物流センター	4,553 t CO <sub>2</sub>
	③	泉田営業所	1,229 t CO <sub>2</sub>
	④		
	⑤	早島物流センター	360 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 25 年度 ～ 平成 29 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 4.2 %	3.3 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上金額	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 27 ) 年度	目標年度
		213.000 t CO <sub>2</sub> /(億円)	222.000 t CO <sub>2</sub> /(億円)	206.000 t CO <sub>2</sub> /(億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

デジタル式タコグラフの運行結果により、無駄なアイドリングや急発進・急加速・急停止、経済速度での運行を指導し、燃費は毎年向上している。又、運行効率の見直しをし、走行量の削減を図る。

**【推進体制】**

グリーン経営推進のため、各営業所に責任者・推進委員を任命し、空気圧や排ガス色の点検、エンジンオイルやエレメント類を適切な時期に交換している。さらに本社にも監視機関を設け、車両、倉庫の巡回点検を定期的に行い、節電や燃費節約を図る。

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全営業所	<p><b>【H27年度実施分】</b>            22台を低燃費車に代替            エコタイヤ交換            トラック協会主催の省エネ運転講習会に出席            デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導            走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換            タイヤ空気圧を毎月確認し、適切な空気圧を管理            乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算            ドライブレコーダーの追加導入</p>
倉富物流センター	<p>防熱扉の開閉を少なくするように継続的な指導            細かな温度管理を行った            太陽光発電で187,395kwhを発電</p>
早島物流センター	<p>バイオ燃料を試験的に導入</p>
全営業所	<p><b>【今後実施予定分】</b>            新型デジタル式タコグラフを順次導入し、運行途中のリアルタイムな指導を行う。            燃費向上装置を試験導入。            タイヤ空気圧監視装置を試験導入し、燃費低下やバーストを防止する。            昨年と同様の取り組みを行う。</p>
泉田営業所	<p>照明をLEDにかえる。</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

大福営業所は平成27年8月より都窪郡早島町へ移転し、早島物流センターとして稼働。